

第 68 回

高知市文化祭

報告書

〔平成 28 年度〕



第 68 回高知市展オープニングセレモニー（平成 28 年 5 月 28 日／かるぼーと）

高知市文化祭執行委員会



目 次



高知市文化祭執行委員名簿	2
高知市文化祭主催行事	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	6
参加行事報告		
映像部門参加行事	7
演劇部門参加行事	9
音楽部門参加行事	11
舞踊部門参加行事	14
展示部門参加行事	15
文芸部門参加行事	16
その他の参加行事	17

第68回高知市文化祭執行委員会

	区 分	氏 名	備 考
芸 術 文 化 部 門	映 像	岡 本 賀 行	高知県興行生活衛生同業組合
	演 劇	北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場理事
		小 林 容 子	高知能楽会会長
		吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
	音 楽	上 本 竹 永	高知県漢詩連盟会長
		黒 岩 千 賀	高知交響楽団事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		松 村 紫 乃	高知県三曲協会会長
	舞 踊	伊 野 友 美 子	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所代表
		花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
	展 示	猪 野 一 鐘	高知県華道協和会専務理事
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	市 展	濱 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
	県立美術館	植 田 憲 司	高知県立美術館学芸員
文化協会	高 橋 啓 継	高知市文化協会事務局長	
報 道	高知新聞	又 川 晃 世	高知新聞社学芸部長
	NHK	大 塚 秋 人	NHK高知放送局放送部長
	高知放送	高 木 寿 隆	高知放送役員待遇報道制作局長
	テレビ高知	福 島 和 彦	テレビ高知報道・技術センター次長兼報道部長
	さんさんテレビ	根 岸 幸 弘	高知さんさんテレビ報道制作担当局長
	高知新聞企業	西 村 祥 央	高知新聞企業局次長待遇兼事業企画部長

委員 長 花柳 昌延

副委員 長 高橋 輝雄 ・ 北村 絵理

監 査 上本 竹永 ・ 山北 美砂子

第68回高知市文化祭開幕行事
「土佐に生まれ、土佐が育んだ、文化の華」

第68回高知市文化祭開幕行事

土佐に生まれ
土佐が育んだ
文化の華

第一部
日本舞踊
美穂川流陽和会による日本舞踊

第二部
宮尾登美子追悼
朗読劇「絃の琴」（全四幕）吉本智賀子

「絃の琴」の音に魅せられ、幕末から明治へと時代の大きなうねりの中で、絃琴を心の支柱に、土佐の絃琴として後世へと繋げていった女性の生き方を描きます。

出演
第一部／美穂川流陽和会
第二部／美穂川流陽和会正曲 絃琴白鷺会
高知マンドリン土曜日会、劇団the創、劇団ゆまにて

平成28年 4月10日(日)
午後1時開演 (12時30分開場)
高知市文化プラザかるぼーと[大ホール]
入場料| 前売り:2,000円 当日:2,500円
※未就学児入場不可(託児をご希望の方は、西森 090-7144-0459までご連絡下さい)
チケット| 高知市文化プラザかるぼーとミュージアムショップ・高新プレイガイド
販売所| 高知県立美術館ミュージアムショップ・高知大丸プレイガイド
主催=高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・美穂川流陽和会
主管=公益財団法人高知市文化振興事業団・高知市教育委員会
後援=高知新聞社・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSSさんさんテレビ
NHK高知放送局
(お問い合わせ) 高知市文化振興事業団 TEL.088-883-5071

- ◇日 時 平成28年4月10日(日)13:00～
- ◇場 所 高知市文化プラザかるぼーと大ホール
- ◇入場料 前売2,000円 当日2,500円
- ◇主 催 高知市文化祭執行委員会、高知市文化協会、美穂川流陽和会
- ◇主 管 公益財団法人高知市文化振興事業団、高知市教育委員会
- ◇後 援 高知新聞社、NHK高知放送局、RKC高知放送、KUTVテレビ高知、KSSさんさんテレビ
- ◇出演者 美穂川流陽和会、正曲一絃琴白鷺会、高知マンドリン土曜日会、劇団the創、劇団ゆまにて 計72人
- ◇入場者 548人

第68回 高知市展

- ◇開催日 平成28年5月28日（土）～6月12日（日）
- ◇会 場 高知市文化プラザかるぽーと 7階市民ギャラリーほか
- ◇入場料 前売300円 当日400円
- ◇鑑賞者 2,626人
- ◇美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」 6月5日（日）午後1時～4時
前広場テント5部門5ブース・中央公民館内4部門5ブース（計9部門10ブース）
フリーパスポート500円（499枚）



◇出品者・出品点数・イベント参加者

部 門	出品者(前回)	出品点数(前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	75 (77)	93 (92)	4 (4)	色と遊ぼう	1,500
日本画	29 (37)	32 (47)	3 (3)	竹うちわであつい夏をのりきろう	450
書 道	122 (112)	122 (112)	10 (10)	筆と遊ぼう	500
先端美術	15 (22)	15 (22)			
彫 刻	34 (35)	47 (43)		せっこうメダルをつくろう	468
陶 芸	52 (63)	100 (120)	3 (3)	粘土で何ができるかな	320
工 芸	31 (36)	43 (55)		のぞいてみよう！ 万華鏡の世界	100
写 真	62 (67)	101 (112)	11 (11)	手づくり紙箱カメラ	90
ペン字	85 (99)	88 (103)		なまえ美文字クリニック	260
デザイン	25 (15)	28 (20)		楽しいキーホルダー作り	450
				村岡センセイと4コマ まんがを楽しもう	80
合 計	530 (563)	669 (726)	31 (31)		4,218

第68回 高知市展 関 連 行 事

子ども対象の美術体感イベントとは別に、部門の振興を図ることを目的に研究会や講習会を開催。

講習会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容	
彫 刻	全身像・抽象	3/1(火)～4/10(日)	9人	絵画室	18:00～20:30の全12回
	頭 像	3/29(火)～4/24(日)	10人	彫塑・陶芸室	18:00～20:30の全15回
写 真	3/20(日)	16人	絵画室	「マットのカッティングと、写真交換式パネル」 講習会後に、カッティング等も行った。	
陶 芸	4/3(日)	16人	彫塑・陶芸室	一般の方を対象とした「一日作陶体験会」 講習会作品として市展会場に展示。	
デザイン	4/15(金)・22日(金)	11人	国際デザイン・ ビューティカレッジ	「第2回まんが家体験プレまんが絵師Lesson」 講習会作品として市展会場に展示。	
工 芸	4/24(日)	12人	工芸室	「のぞいてみよう！万華鏡の世界」 講習会作品として市展会場に展示。	
日本画	5/8(日)	15人	絵画室	「琳派に挑戦！～ミニ金屏風に描く～」 講習会作品として市展会場に展示。	
絵 画	5/14(土)・15(日)	9人	絵画室	「水彩画講習会」 講習会作品として市展会場に展示。	



研究会

部 門	日 程	参加者	会 場	内 容
デザイン	5/29(日)	約6人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
書 道	5/29(日)	約20人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
	6/11(土)	約20人		
絵 画	6/12(日)	約40人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
彫 刻	6/12(日)	約30人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
写 真	6/12(日)	約20人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
日本画	6/12(日)	約20人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究
陶 芸	6/12(日)	約10人	展示会場	実際の作品の前で、出品作品の講評と研究



文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	7 (6)	809 (611)	168,300 (117,600)	特別共催 1 共 催 3 名義共催 2 名義後援 1
演 劇	8 (8)	2,653 (2,498)	389,300 (371,900)	共 催 6 後 援 1 名義後援 1
音 楽	16 (17)	6,733 (7,007)	827,600 (906,600)	特別共催 1 共 催 13 名義共催 1 名義後援 1
舞 踊	2 (3)	1,014 (1,114)	250,000 (500,000)	共 催 2
展 示	4 (3)	7,537 (6,435)	323,700 (285,300)	共 催 4
文 芸	3 (4)	627 (792)	200,000 (250,000)	共 催 3
その他	4 (6)	926 (964)	183,600 (213,600)	共 催 4
合 計	44 (47)	20,299 (19,421)	2,342,500 (2,645,000)	特別共催 2 共 催 35 後 援 1 名義共催 3 名義後援 3

() 内は前回の実績数

※「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

映像部門(1)

行事名 「鉄道員」(ピエトロ・ジェルミ監督) +中野勇人(高知平和運動センター事務局長)講演会「国鉄労組の解体」				
日・時	4月17日(日) 10:00～計4回 14:55～講演会			国鉄労組が、中曽根政権時代に無理矢理解体され、それぞれ全国にJRの会社が誕生したが、その裏側の攻防の話は、全く聞いた事も報道された事も無かったので、とても新鮮でした。「鉄道員」の映画は、これぞ、お涙ちょうだいの感動作で、このテーマ音楽が流れ出しただけで泣いている人達が沢山いた。「鉄道員」自体が、組合員のスト破りのストーリーだったので、講演会とピッタリあった。とても良い講演でした。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	63人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三			

行事名 シネマな夜VOL.194「MUD」				
日・時	4月28日(木) 13:30～計3回			「MUD」は、なぜこの作品が劇場公開されなかったかと思うほど、少年映画の秀作でした。「ダラス・バイヤーズ・クラブ」「インター・ステラー」「追憶の森」と、今や押しも押されぬ一線級の俳優となったマシュー・マコニーが、主人公の少年と出会うミステリアスな男MUD(“泥”の意)を演じている。天才子役、タイ・シェリダンも素晴らしい。2000年代の「スタンド・バイ・ミー」とも、現代版「トム・ソーヤの冒険」とも言える作品。
会場	県立美術館ホール	入場者	132人	
主催	シネマ・サンライズ／吉川修一			

行事名 「黒薔薇の館」				
日・時	5月14日(土) 12:00～計4回			約40年前の映画でありながら今見ても斬新であり、高い評価をいただいた。しかし、年齢層が年配の観客に偏っていた。広報活動を強化し、より若い観客層にアピールしていきたい。
会場	あたご劇場	入場者	140人	
主催	へびや／門脇伸夫			

行事名 「尼僧ヨアンナ」(イェジー・カヴァレロヴィチ監督) +堀越孝一(学習院大学名誉教授)講演会「中世ヨーロッパのキリスト教と火炙り」				
日・時	5月29日(日) 10:30～計4回 14:45～講演会			今回の「尼僧ヨアンナ」のフィルム、神父の異端審問の裁判シーンと神父が火炙りで焼き殺されるシーンがカットされていました。お客さんが分からない、難しいと言っていたので、この2シーンがカットされていたなら、当たり前と思いました。堀越先生の話しは難し過ぎて、程度が高かった。カトリック宗教のヨーロッパでの歴史も話すかなと思っていただけ、無かった。ただ、学習院時代の県下にいる教え子達が、数人来ていたのには驚いた。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	86人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三			

行事名 「股旅 三人やくざ」				
日・時	6月25日(土) 12:00～計4回			旧作上映では、自主上映の広報の主力たるチラシを一から作るため資料集めが大事なのですが、高知市民図書館蔵の「キネマ旬報」を早めにチェックしていて、対応できたのは良かった。隠れた名作として知られる本作は、いつか観たいと思っていたのですが、批評の多くが言及するコーラスの分量が意外に少なかった。だが、機知の効いた画作りは流石だと思う。動員が少なかったのは題名にあるやくざが理由だとしたら皮肉な話だ。
会場	あたご劇場	入場者	65人	
主催	MOVIE JUNKY／西川泉			

行事名 「人魚伝説」(池田敏春監督)+木田節子講演会「今、福島で起こっている事は？」 +牧田寛(高知工科大学工学博士)と対談「果して、原発は必要なのか？」				
日・時	6月26日(日) 10:00～計3回 12:10～講演会 16:55～対談			「人魚伝説」は、福島原発事故後、池田敏春監督が、撮影現場の伊勢・志摩で入水自殺した事でも有名な映画であり、ラスト10分間で原発関係者を惨殺するシーンがありました。木田節子氏は、福島県人として、放射線被害を県外で語る方です。今、妊娠した妊婦の1/3が奇形児で墮ろされている、と言われている。母子手帳が出る前で、記録に残らない。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	157人	
主催	小夏の映画会／田辺浩三			

映像部門(2)

行事名	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 第30期(通算82回)上映会「奥会津の木地師」「竹縄のさと」		
日・時	6月26日(日) 9:45～15:06		高知・民族文化映像研究所の映画をみる会は、1987年に上映会をはじめました。当初は知名度も低く、一桁の参加者でしたが、2年前より多くの方に見ていただいています。高度成長の中で失われた自然や生産のかたち、姿をかえてしまった風俗や技術を、民映研のフィルムは記録してくれています。この自然の中で育まれた豊かな生活を、ぎりぎりのところで映像としてみることができました。
会場	自由民権記念館民権ホール	入場者 166人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会/松吉恵子		

演劇部門(1)

行事名	シアターTACOGURA 007 イブセン「民衆の敵」		
日・時	4月15日(金) 20:00～21:30 4月16日(土) 14:00～15:30 20:00～21:30 4月17日(日) 14:00～15:30(計4回)		貧困、ポピュリズム、民主主義、環境問題、戦争など、現代を生きる私たちには考えるべき問題が山積みである。これらは有史以来、人間がずっと向き合い続けたものである。この普遍的な問いに我々自身がどう対峙すべきか。近代戯曲を上演するという行為は学びが多かった。観客から難しいと言われないか不安はあったが、イブセンのパワー、我らのココロイキは伝わり、アンケートの回収率、来場者数も過去最高だった。
会場	蛸蔵	入場者	162人
主催	シアターTACOGURA／藤岡武洋		

行事名	神田香織さん高知公演 「あの『はだしのゲン』を講談できこう！」		
日・時	5月1日(日) 14:00～16:00		迫力ある演劇的空間で「はだしのゲン」を語る神田香織さんの講談の力は、核兵器と戦争の怖さ、家族が支え合って困難な時代を生きぬく力を、私たちの心に刻みましました。アフタートークで現実に戻り、核の時代の終焉に向け、黙っていないで声を上げる市民としての自覚を共有できました。ただ、小中学生が日曜日の部活で来られなかったのが、残念でなりません。今後も、放射能の脅威のない時代を拓くために、市民運動を続けま
会場	県立美術館ホール	入場者	280人
主催	グリーン市民ネットワーク高知／外京ゆり		

行事名	Join the Bear Hunt ～絵本で遊べば心が動く～		
日・時	5月8日(日) 10:00～11:45		まず、英語と日本語で読み聞かせをした後、場面遊びを体験しました。次に「We're going on a Bear Hunt」のお話を、小道具なしで劇体験しました。名作絵本だからこそ、それを遊ぶことで実体験とことばが一体化し、母国語習得に近い外国語習得ができます。今回の会で、親子で絵本を楽しむことが日常にあれば、自然にことばの習得に繋がり、日本語の基礎の上に、外国語習得が成り立つことを、体験を通して、伝えることができました。
会場	かるぽーと9階和室	入場者	63人
主催	高知ラボ・パーティ／岩本真理		

行事名	喜多流回雪臺高知栗谷会春の会		
日・時	5月8日(日) 13:00～16:00		本会の入場者数約200人は予想外でした。これは番組の配布など、会員の種々の努力の結果と思います。栗谷会も会員の高齢化などによる出演者の減少もありますが、発表演目の充実等、更に配慮して参りたいと考えています。地方の能楽の維持・発展のために、今後共努力して参ります。
会場	県立美術館能楽堂	入場者	200人
主催	喜多流回雪臺高知栗谷会／岡部徳治		

行事名	高知市こども劇場低学年例会 人形劇団むすび座公演「ピノキオ」		
日・時	5月18日(水) 19:00～20:40		サーカステント小屋をモチーフにした舞台セット。賑やかな歌や踊り、マイムや大道芸で彩られると同時に、そこに同居する不思議さや不気味さを感じさせる雰囲気でした。自分の行いを反省し正しく生きようとしても誘惑に負け、間違いをくり返してしまうピノキオ。それでもあきらめず、へこんでも立ち上がり明るく元気に冒険を続けるピノキオに人間らしさを感じ、思わず応援してしまいました。
会場	グリーンホール	入場者	337人
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／手嶋亜古		

行事名	高知市民劇場第320回例会 オペラシアターこんにやく座公演「ネズミの涙」		
日・時	5月27日(金) 18:30～21:00 5月28日(土) 13:30～16:00		こんにやく座公演、オペラ公演、そして鄭義信作・演出と、高知市民劇場初めてづくしの例会でした。鄭さんは、嫌われもののネズミを題材に、マイノリティに光を当てました。そして、小さなネズミの世界を通して、私たちの世界に今なお起こっている戦争という重いテーマを描き、戦争で流される多くの涙は、私たち庶民の涙だと訴えていました。多くの会員が鄭さんのメッセージをしっかりと受け取ったと感じられる例会でした。
会場	オレンジホール	入場者	1,240人
主催	高知市民劇場／塩田正興		

演劇部門(2)

行事名	第28回高知能楽会大会				
日・時	6月5日(日) 9:40～16:10		<p>格式ある能舞台で、日頃の稽古の成果を発表する事ができた。目標に対する達成感が得られたと共に、稽古の重要性、継続性の必要を共感することができた。本年度、事前に大会の開催と併せて能楽堂の存在をアピールすることに努め、これまでとは違った観客層が来場いただき、ありがたかった。</p>		
会場	県立美術館能楽堂	入場者			150人
主催	高知能楽会／小林容子				

行事名	シャカカのお芝居 「シャカカHOPPA ワレワレは宇宙人ダ」				
日・時	6月11日(土) 14:00～15:30、20:00～21:30 6月12日(日) 14:00～15:30 (計3回)		<p>次世代の表現者育成に積極的に取り組むため、昨年同様、「子育て応援ZEROSAI」の協力を得て、子どもと一緒に作品制作に取り組んだ。高知のお客様に楽しんで演劇に触れてもらう機会を提供するため、演劇以外のジャンルも積極的に取り入れ、自劇団以外とも積極的に交流を持ち、表現者も鑑賞者も増やしていけるよう努めていきたい。</p>		
会場	蛸蔵	入場者			221人
主催	シャカカ／岡村実記				

音楽部門(1)

行事名	一絃琴の調べ わくら和遊紅会演奏会		
日・時	4月17日(日) 13:30～15:30		直前の熊本地震や当日朝の大雨にもかかわらず、多数のお客様にご来場頂きありがたいことでした。又、神戸や高松から一絃琴愛好の方がみえたこともうれしいことでした。私達の会は、一絃琴・低音琴・弓琴の合奏で曲に奥行きを持たせ、より楽しく演奏することを心がけています。来年は、お客様自身が一絃琴を弾く体験学習をして頂こうと考えています。
会場	かるぽーと9階和室	入場者 42人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会／松本遊紅		

行事名	四十周年記念大会 おしどり会民謡発表会		
日・時	4月24日(日) 12:30～16:30		昭和52年に設立して今年40周年記念大会を開催しました。日本民謡を北から南へ唄い上げました。民舞、新民踊を入れ、器楽演奏や合唱も入れ、日本の伝統文化を堪能しました。
会場	グリーンホール	入場者 420人	
主催	(公財)日本民謡協会高知おしどり会／高橋輝雄		

行事名	土佐中・高等学校吹奏楽部 第51回スプリングコンサート		
日・時	4月24日(日) 17:45～20:00		1301人のお客様に来場頂きました。大きなトラブルもなく、特に反省すべき点はありませんでした。より良いコンサートとなるよう、努力します。
会場	オレンジホール	入場者 1,301人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部／川崎仁哉		

行事名	高知県吟剣詩舞道総連盟 第73回詩吟剣詩舞春季決勝大会		
日・時	5月8日(日) 9:30～16:30		大会そのものは例年同様に開催され、各クラスで熱の入った吟詠が行われた。参加者(会員)の高齢化が進行する中、後継者の育成が芸道の伝承には何といても不可欠で、大会の活力低下は否めない状況と見られる。又、来場者のほとんどは会員であり、一般の方の来場が望まれるところです。今後は広報強化を図りたい。会場に、先の熊本地震に対する義援金箱を設置し、少額ではありますが別途寄付致します。
会場	グリーンホール	入場者 350人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟／竹内岳南		

行事名	2016年度例会コンサート 「親子で楽しむレクチャー・コンサート」		
日・時	5月13日(金) 18:30～20:30		今回のコンサートは「親子で楽しむレクチャー・コンサート」ということで演奏のみではなく、合い間に身振り手振りを交えての曲の解説があり、子供たちにもわかりやすい内容となっていました。又、終始和やかな雰囲気でのコンサートでありながら、圧倒的な集中力から生み出される豊かな表現で、多くの人をひきつける関本氏は、予想をはるかに上回る演奏で聴衆を魅了しました。
会場	グリーンホール	入場者 400人	
主催	高知県ピアノ指導者協会／住友弘一		

行事名	正曲一絃琴白鷺会 春の演奏会		
日・時	5月14日(土) 13:00～15:00		春の演奏会は、県内外より観客があり、客席を少し追加することになりました。桔尾花・漁火・四季の曲・春の調等、初心者も含め皆で協力し合い、一絃の音色等もよく合っていたと思います。十三絃琴との合奏も、歌詞を良く考え、気持ちを込めて、演奏出来たと思います。今後も更に聴いている方々が感動して下さるような演奏が出来る様、日々精進していこうと話合っています。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 195人	
主催	正曲一絃琴白鷺会／森本和子		

音楽部門(2)

行事名 やいろ吹奏楽団 第21回定期演奏会			
日・時	5月21日(土) 18:00～21:30		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	563人
主催	やいろ吹奏楽団／野町考司		

ここ二年ゲストを招いての公演でしたが、今回は、当楽団のみで構成し、オリジナリティあふれるステージだったとお客様から大変ご好評いただきました。生演奏の迫力やオモシロさを味わっていただけただけのではと感じています。入場整理や、演出も含め、まだまだ改善・向上していかなければならないことはたくさんあります。今後も、多くのお客様にこそ来場いただき、楽しんでもらえる魅力あるステージを目指していきたいです。

行事名 三曲演奏会			
日・時	5月22日(日) 13:30～16:00		
会場	グリーンホール	入場者	317人
主催	高知県三曲協会／松村紫乃		

今年はゲストに箏・三絃演奏家松村エリナ、尺八演奏家柿塚香の各師をお招きしました。いずれも今中央の第一線で活躍されている実力ある演奏家で充実感のある舞台となりました。演奏曲数はゲスト曲3曲、協会提曲2曲、協会会員提曲5曲の計10曲で、会員曲は新曲で構成しました。ご来場頂いた皆様からはご好評の声が多く寄せられました。

行事名 高知市こども劇場高学年例会 生音空間公演「草原の馬頭琴 森のピアノ」			
日・時	5月26日(木) 19:00～20:30		
会場	かるぽーと小ホール	入場者	98人
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場／手嶋亜古		

生音にこだわることで、心に直接響いてくる楽器本来の魅力が感じられるコンサートになっていました。二人の音楽家の異種の音が重なり合い、想像を超えた美しいハーモニーに魅了され、まさに森の中のコンサートのように自然につつまれた感じで不思議な音を体験しました。

行事名 高知交響楽団創立85周年記念演奏会 (第156回定期演奏会)			
日・時	5月29日(日) 14:00～16:00		
会場	かるぽーと大ホール	入場者	696人
主催	高知交響楽団／日浦啓全		

高知在住の音楽家と丸の内高校音楽科生の合唱が入った「カルメン」はフランス語の心地よい響きと、オーケストラの丁寧な演奏が素晴らしい、と大変好評であった。「ベートーヴェン全交響曲連続演奏シリーズ」も残すところ1回となったが、今回の「交響曲第8番」は完結への弾みとなる好演であった。あいにくの天気の中来場して下さいたお客様に感謝するとともに90年、100年とこれからも愛される高知交響楽団でありたいと思う。

行事名 高知マンドリン土曜日会 第47回定期演奏会			
日・時	6月11日(土) 18:30～21:00		
会場	オレンジホール	入場者	618人
主催	高知マンドリン土曜日会／前田理恵		

第1部で宇宙をテーマにした曲、「宇宙戦艦ヤマト」やピンクレディーの「UFO」。第2部ではソロの方々や合唱団の方々の協力によりミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より楽しい曲やなつかしい曲を行い、御来場の方々に楽しんでいただけたことと思います。あと数年で50回目の定演を迎える事となります。メンバー一同元気に50年を迎えることができるようがんばってきたいと思います。

行事名 混声合唱団Pange 第13回定期演奏会			
日・時	6月11日(土) 18:30～20:30		
会場	県立美術館ホール	入場者	352人
主催	混声合唱団Pange／山中香奈		

全ステージを通じて野心的な演奏会となった。日本の民謡を集めた第1ステージ、打楽器やウィングラスを用いて現代音楽を演奏した第2ステージ、フォークソングからニューミュージックまでの楽曲を、緩急折り混ぜて演奏した第3ステージ。そして、最終ステージでは、千原英喜の組曲「おらじよ」を情感豊かに歌い上げた。昨年の全国大会のために訪れた長崎での経験で、さらに深みの増した音楽を披露できた演奏会であった。

音楽部門(3)

行事名	秀鳳流日本吟詠会春季大会		
日・時	6月12日(日) 9:30～16:00		日本の伝統文化、吟詠道の振興普及の為に毎年企画される番組も底辺根付く実会員の情熱が肝じんと、指導者の発表部門、会員のコンクールを盛り上げています。本会の特殊部門、歌謡吟詠も年々レベルが上がります。今年は今流傘下会員を主体に楽しい会となりました。今年の目標は、会勢拡大。地道に各地域に仲間造りのために、少人数で楽しむ吟詠鑑賞会を設けて努力しています。
会場	高知プリンスホテル	入場者 130人	
主催	秀鳳流日本吟詠会／野中秀鳳		

行事名	第23回大正琴アンサンブル あじさい会の集い		
日・時	6月12日(日) 13:00～16:00		多くの方々のお力添えをいただき一年間学んだ成果を発表することが出来ました。藤間紫公氏をはじめ、てづくり太鼓「祭衆」や、歌手の皆様の応援をいただき、皆様方と楽しいひと時を過ごすことが出来ました。高齢になるに従って、継続していくことの難しさも感じますが、心をついに美しいハーモニーをつくり、お客様に感動を与えていき、それが私たちの活力となっていきます。また来年に向かって努力を重ねていきたいと思っています。
会場	県立美術館ホール	入場者 400人	
主催	大正琴あじさい会／川島節子		

行事名	土佐一絃琴同好会演奏会		
日・時	6月12日(日) 13:30～15:30		江戸時代から伝わる音色を土佐一絃琴の特性として、守り伝えるべく、伝統的奏法を心がけており、さらに正曲以外にも外曲、御来場の方々の要望による小学校唱歌、童謡等も毎回取り入れています。プログラムの最後の方では、二三曲を皆様と唱和できるものを加えて好評を頂いております。少人数ではありますが、練習を怠らぬよう心がけ、新しい曲も取り入れ、御来場の方々のリクエストにも応えられるよう努めていきます。
会場	龍馬の生まれたち記念館	入場者 35人	
主催	土佐一絃琴同好会／野崎温子		

行事名	第57回高知県合唱祭		
日・時	6月19日(日) 10:00～16:00		全30団体(ジュニア・中学・高校・大学・一般・おかあさん)の参加で、ポップスから古典曲まで各団体の個性が色濃く出る選曲となりました。会場が一体となる演出をする団体もあり、お目当ての合唱団以外の演奏でも楽しんで頂けたようです。また、故向原寛先生の記念コンサート出演予定者有志で「流浪の民」と「大地讃頌」の2曲を合同演奏しました。普段合唱に縁の薄い方にも聴いて頂くことができ、大変良いきっかけになりました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 816人	
主催	高知県合唱連盟／西本佳奈子		

舞踊部門

行事名	第1回高知県支部日本舞踊協会公演		
日・時	5月15日(日) 10:30～17:30		支部が発足してから初めての会となりましたので、すべてが、これからの礎にもなるので、役員の中から実行委員を選出し、準備を進めてきました。慣れないことも多く、不手際もありましたが、第二回目の公演を催す際は、それらを踏まえて準備ができると思います。公演の方は、賑々しく開催することが出来ました。第一回目の記念公演らしい会になったと思います。この勢いに乗り、第二回目も開催できればと思います。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 804人	
主催	(公社)日本舞踊協会高知県支部／花柳昌延		

行事名	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所公演「無じん」		
日・時	6月4日(土) 18:00～20:00		表現舞踊を創作し、舞台上で演じること。そのことを続けていこうと改めて感じています。もっと多くの人達に観て頂けるように努力したいと思っています。
会場	県立美術館ホール	入場者 210人	
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所／伊野友美子		

展示部門

行事名	第11回映光会書作展 -「かるた」で楽しむことばあそび-		
日・時	4月22日(金)～25日(月) 10:00～18:00 (最終日は16:30まで)		今回は11回展ということで新たな気持ちで取り組みました。「百人一首」だけでなく、大人から子どもまで広く親しまれている「いろはかるた」や「土佐弁かるた」等ご来場の皆様に大変喜んでいただきました。他にも「源氏かるた」「紋かるた」「俳聖かるた」「ことわざかるた」等、たくさん種類があることも知り、「かるた」を通して様々な表現、ことばあそびができました。次回も楽しい書展が開けるよう、会員一同頑張りたいと思います。
会場	高新画廊	入場者 500人	
主催	書道研究映光会／三浦映泉		

行事名	高知ばら会 春のばら展2016		
日・時	5月7日(土) 10:00～18:00 5月8日(日) 10:00～16:00		出品花数は329本で、例年より少なかったが、入場者でほぼ満員状態であった。今年は新聞、テレビの放送があり、最終日に来場者が急増した。会場入口に設置した「ばらディスプレイ」が来場者に好評で、アレンジメント作品も大変おしゃれと評判が良かった。ばらアンケートと切花のプレゼントが好評で、会員の対応も好感があったとお褒めをいただいた。ばらの魅力をふんだんに活かしたばら展2016は盛会でした。
会場	かるぽーと7階第5展示室	入場者 792人	
主催	高知ばら会／森岡清		

行事名	春のいけばな展		
日・時	5月14日(土) 10:00～18:00 5月15日(日) 10:00～17:00		2日間の会期中、2,545人の来場者を得たが近年2,500～2,600人と来場者は横ばい状況にある。将来を見越し新たな観点から来場者増を図る取組みが求められている。来年に向け、華道協和会内で知恵を出し合い検討する必要がある。
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者 2,545人	
主催	(一社)高知県華道協和会／宮田速雄		

行事名	第40回さつき花季展覧会		
日・時	5月26日(木)～29日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:30まで)		高知県さつき愛好会会員70鉢出品。県内外の方々多数観賞。アメリカ、ドイツ、フィリピン等の方々も来館し、展示品に驚嘆。さつき相談や、花の剪定、植替え等の実技講習も実施。本年度の反省に立ち、次年度の計画をたてる。
会場	県立牧野植物園	入場者 3,700人	
主催	高知県さつき愛好会／毛利俊男		

文芸部門

行事名		第46回総合文芸展		
日・時	5月10日(火)～15日(日) 10:00～17:00(最終日は16:30まで)			会場の壁面には、高知ペンクラブ会員の作品を中心に、短歌、俳句、詩、川柳、紙芝居の絵など、約60点の作品が趣向を凝らして展示され、陳列ケースには会員の著書、同人誌、高知ペンクラブ発行の「高知文芸年鑑」や「会報」のほか、椋庵文学賞、県出版文化賞、高知出版学術賞の各受賞図書も展示され、鑑賞者の目をひいた。内容が充実し、成功であった。来年に向け、広くPRを行い、さらなる文芸の発展を目指したい。
会場	かるぽーと7階第5展示室	入場者	400人	
主催	高知ペンクラブ／高橋正			

行事名		第45回高知県俳句大会		
日・時	5月29日(日) 9:00～17:00			今回は239人より1086句の投句があり、選考委員の選を経て優秀作品の表彰、講評を行い、その後全員による互選の大会を行い、会員相互の親睦と研修を図った。高齢化に伴う会員減を防ぐため、日常的な活動の充実が必要。新たな句会、大会、グループの立ち上げと育成に努めたい。
会場	こうち男女共同参画センター「ソーレ」	入場者	98人	
主催	高知県俳句連盟／山本呆斎			

行事名		平成28年度帆傘川柳大会		
日・時	5月29日(日) 10:30～17:30			川柳雑誌帆傘800号記念をかねて、大阪から著名な森中恵美子氏(番傘川柳本社)を迎えて、「川柳の記憶と忘却」という記念講演を行い好評であった。県内各地、および四国や大阪からの多数の参加者で、大盛会の大会となった。会の運営はスムーズで、予定時刻どおりに終了した。欠席投句者をあわせると168名の大会となった。県外3名、県内5名の選者、共に充実した選であった。
会場	高知会館	入場者	129人	
主催	帆傘川柳社／小笠原望			

その他

行事名	香道古心流土佐伽羅の会 香を楽しむ		
日・時	4月24日(日) 10:00～12:00・13:00～15:00		晴天で来場者もあり、盛会であったが午後の席に入場者が多くなり席のあり方に反省するところがあった。組香は伊勢物語を題材にした杜若香を行った。丁度の季節で楽しんでいただいた。この機会に伊勢物語を読んでみようという人もいて、よい機会ができたと思う。
会場	寺田寅彦記念館	入場者 44人	
主催	香道古心流土佐伽羅の会／藤本淑峰		

行事名	第42回高知市教育長杯かるた大会		
日・時	6月26日(日) 9:00～16:00		中高生の部は、土佐中学高等学校、県立安芸中学高等学校、高知高等専門学校からの参加があり、レベルはまだまだですが、参加人数は昨年より少し増えました。小学生の部の入賞者は、全員一ツ橋小学校という状態でした。平成32年の全国高等学校総合文化祭の高知県開催に向かって課題は多いですが頑張ります。
会場	南部健康福祉センター	入場者 42人	
主催	高知かるた会／吉本健二		

行事名	第20回三里友の会文化祭		
日・時	5月15日(日)～6月26日(日)		参加グループの高齢化による開催で、毎年危ぶまれるなか、今年も一丸となって頑張り、例年以上の観客動員となりました。又、来年につきましても同じような不安がありますが、みんなで力を合わせ、三里文化祭の灯を消さない様に努力、精進したいと思います。
会場	三里文化会館	入場者 840人	
主催	三里文化推進友の会／土居正治		

行事名	参加興行映画		
日・時	4月1日(金)～6月30日(木)		入場者内訳 (邦画) 4月1日～4月22日「家族はつらいよ」 3,624人 5月14日～6月30日「世界から猫が消えたなら」 4,971人 (洋画) 4月22日～5月31日「レヴェナント 蘇えりし者」 2,443人 5月27日～6月23日「スノーホワイト 氷の王国」 2,929人
会場	TOHOシネマズ高知	入場者 13,967人 (上映期間中)	
主催	高知県興行生活衛生同業組合／児玉純一		